2008年度

科目名	対象学科・学年	担当者
教科教育法特講Ⅱ	専攻科教福１回生	岡部　恭幸

授業テーマ

算数科の単元づくりの理論と方法について、実際の教材開発、模擬授業を通して学ぶ。

授業の概要と目標

単元づくりの理論や方法について学ぶとともに、実際に教材研究・開発、指導案の作成、模擬授業を行うことを通して、実践的な力をつけることを目的とする。

１．単元づくりのための理論や方法を文献などから学ぶ。
２．教材開発を行い、指導案を作成する。
３．具体的な指導技術について学ぶため、学生自身が模擬授業を行う。

評価方法

①ノート、ワークシートなどの提出物, ②出席状況や取り組みの状況　③テストによって評価する。

テキスト	著者	出版社
適宜、資料を配布します。		

参考書	著者	出版社
適宜、参考となる書籍を紹介します。		

授業スケジュール・内容

１．オリエンテーション	
２．教材開発のための理論	教材の解釈についての解説
３．演習　教材研究①	教材の解釈・研究
４．演習　教材研究②	教材の解釈・研究
５．演習　教材研究③	教材の解釈・研究
６．単元開発の実際	学習指導案の形式、指導上の留意点についての解説
７．演習　指導案作成①	(略案ではない)指導案の作成
８．演習　指導案作成②	(略案ではない)指導案の作成
９．演習　指導案作成③	(略案ではない)指導案の作成
10. 演習　指導案作成④	グループに分かれての相互評価による討議
11. 模擬授業をするにあたって	板書計画、発問の工夫などについての解説
12. 演習　模擬授業①	学生による模擬授業とその検討
13. 演習　模擬授業②	学生による模擬授業とその検討
14. 演習　模擬授業③	学生による模擬授業とその検討
15. 演習　模擬授業④	学生による模擬授業とその検討

（ただし、人数・進み具合などによってスケジュールは変更する）

※　この授業は、講義が中心ではなく、学生が主体的に参加・発表するワークショップ形式にて行うので、講義の時間の出席だけではなく宿題・準備などが必要になりますのでそのつまりでとって下さい。